

中1歴史 飛鳥時代・大宝律令の成立と奈良時代

講師：河原 数馬

<学習内容>

- ▶ 聖徳太子の政治
- ▶ 飛鳥文化
- ▶ 大化の改新
- ▶ 東アジアのようす
- ▶ 律令政治のはじまり
- ▶ 奈良時代の政治
- ▶ 天平文化

聖徳太子の政治

■大王（天皇）中心の政治

女性の推古天皇が即位すると、甥の聖徳太子が摂政となり、蘇我氏と協力しながら、大王（天皇）中心の政治制度を整えようとした（593年）。

※摂政…天皇が女性や子どものときに
天皇の代理として政治を行う役職。



▲推古天皇



補佐する



▲聖徳太子

聖徳太子の政治

■十七条の憲法

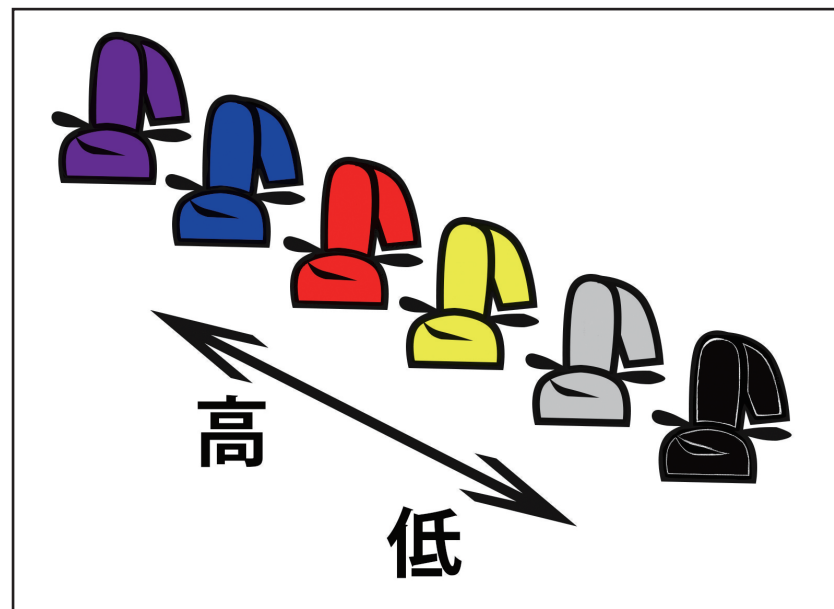
役人の心構えを示したものの。

一に曰く、和をもって貴しとなし、さからうことなきを宗とせよ。
二に曰く、あつく三宝を敬え。三宝とは仏・法・僧なり。
三に曰く、詔(天皇の命令)をうけたまわりては必ずつつしめ。

▲十七条の憲法の一部

■冠位十二階

冠の色で地位を区別する制度のこと。家柄にとらわれず、才能や功績のある人物を、役人にとりたてようとした。



▲冠位十二階の冠の色と地位（※諸説あり）

聖徳太子の政治

■中国への使者

607年に、聖徳太子は隋の進んだ制度や文化を取り入れ、隋との正式な国交を結ぶため、おののいもこ小野妹子をけんずいし遣隋使として派遣した。



▲隋の勢力範囲

飛鳥文化

■時期と特徴

- ①時期：飛鳥時代
- ②特徴：日本最初の仏教文化

■仏教

法隆寺（奈良県）：聖徳太子が建立



◀ 法隆寺

四択問題

推古天皇の時代の説明として、最も適切なものを①～④の中から1つ選びなさい。

- ① 遣隋使として、小野妹子を使者として隋に派遣した。
- ② 憲法十七条を定め、蘇我氏の命令を必ず守るように命令した。
- ③ 冠位十二階を定め、家柄の高い人物のみ役人に取り立てる制度を整えた。
- ④ 推古天皇は自らの力を見せつけるため大仙古墳を作らせた。

天皇中心の政治を目指して

■^{たいか}大化の^{かいしん}改新

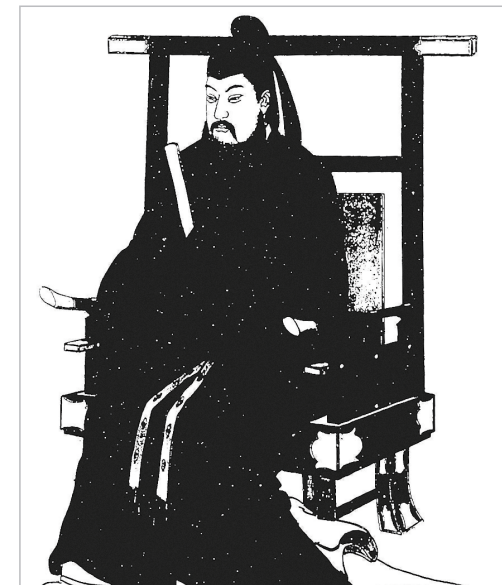
^{しょうとくたいし}聖徳太子の死後、^{ごうぞく}豪族の^{そが}蘇我氏が力をつけ権力を独占していた。645年、^{なかのおおえのおうじ}中大兄皇子は、天皇中心の政治を目指し、^{なかとみのかまたり}中臣鎌足（^{ふじわらのかまたり}藤原鎌足）らと協力して、蘇我氏を倒した。その後、さまざまな政治改革に着手した（大化の改新）。

■さまざまな改革

^{ちやうてい}朝廷の組織を整えるなどの改革を行い、天皇に権力が集中するようにした。



▲中臣鎌足（藤原鎌足）



▲中大兄皇子

入試問題（平成 25 年度 鹿児島県公立高校入試問題・改）

以下の文章の空欄（A）にあてはまる言葉を書きなさい。

中大兄皇子・中臣鎌足らは、蘇我氏を滅ぼし、
（A）と呼ばれる政治改革に着手した。

東アジアのようす

■朝鮮半島

新羅と唐が結んで、百済を滅ぼした。663年に、倭国(日本)は百済を助けるために、朝鮮半島に大軍を送ったが、唐・新羅連合軍の前に敗れた(白村江の戦い)。その後、唐・新羅連合軍が高句麗を滅ぼした(668年)。



▲ 7世紀の東アジア

律令政治のはじまり

■壬申の乱（672年）

天智天皇（中大兄皇子の即位後の名前）の死後、天智天皇の子である大友皇子と天智天皇の弟である大海人皇子が争った結果、大海人皇子が勝ち、天武天皇として即位した。



▲
大海人皇子



▲
大友皇子

■律令の完成

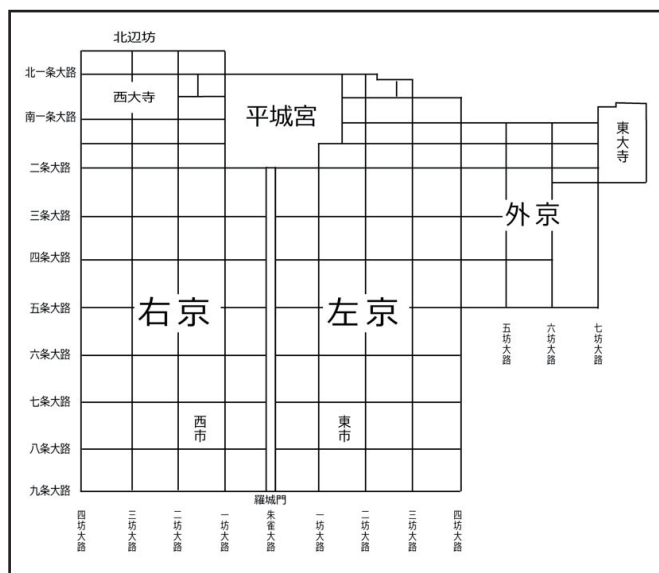
唐の律令にならって大宝律令を制定した（701年）

奈良の都

■新しい都

710年に、**平城京**が今の奈良県につくられた。

⇒奈良に都が置かれていたので、**奈良時代**という。



▲平城京の地図



▲平城京

奈良時代の政治

■土地制度

朝廷(国)は^{はんでんしゅうじゆのほう}班田收授法を制定し,人々に^{くぶんでん}口分田(土地)を与える代わりに,様々な義務を課した。口分田の所有者が死ぬと,土地を国に返還させた。

租 : 稲の収穫高の3%を納める税

調 : 地方の特産物を納める税

庸 : 布を納める税

防人 : 3年間,九州の防備につく。

▲人々の負担

※これらの重い負担から逃れるため,土地を捨てて逃亡する者も出てきた。

■古代の兵士 作者名: Fukushima Culture Property Centre, Shirakawa Branch 作品名: Gundan Infantry URL: http://commons.wikimedia.org/wiki/File:Gundan_Infantry.jpg?uselang=japng?uselang=ja CC-BY-SA



▲古代の兵士

史料『万葉集』

人なみに働いているのに、ぼろな服をかけ、おしつぶされ
低くなった小屋の中で、地べたにわらをしき、父母は私のま
くらもとで、妻子は足もとで悲しんでいる。…長い間ご飯も
たいていない。…そこにムチをもった里長^{りちよう}が租を取り立てる
声が聞こえて来る。これほどまでにどうしようもないものな
のか、この世に生きるということは。

資料問題

資料は、奈良時代の農民の負担と義務を表したものである。
資料中の①～④に当てはまる語句を漢字で答えなさい。

(資料)

(①))	： 稲の収穫高の 3% を納める税
-----	---	-------------------

(②))	： 地方の特産物を納める税
-----	---	---------------

(③))	： 布を納める税
-----	---	----------

(④))	： 3 年間、九州の防備につく。
-----	---	------------------

天平文化

■時期と特徴

- ① 時期：奈良時代
- ② 特徴
 - (1) 聖武天皇が仏教を厚く信仰
 - (2) 仏教と唐の影響を強く受けた国際色豊かな文化

■仏教

- ① 聖武天皇が全国に国分寺・国分尼寺を造らせる
- ② 東大寺（奈良県）：大仏や正倉院（聖武天皇の愛用品を納める）
- ③ 鑑真：何度も遭難し失明しながら来日

天平文化



▲東大寺大仏殿



▲正倉院

入試問題（平成 27 年度 兵庫県公立高校入試・改）

聖武天皇のころには、仏教や大陸の影響を受けた国際色豊かな文化が花開いた。この頃の仏教について述べた文として適切なものを、次のア～エから 1 つ選びなさい。

- ア. 阿弥陀如来にすがり、極楽浄土に生まれ変わることを願う浄土信仰が流行した。
- イ. 天台宗を広めた最澄が比叡山に延暦寺、真言宗を広めた空海が高野山に金剛峰寺を開いた。
- ウ. 聖徳太子が法隆寺を建立した。
- エ. 仏教の力にたよって国家を守ろうと、諸国に国分寺と国分尼寺、都に東大寺が建てられた。